

令和 3 年度 岡山学芸館高等学校 選抜 1 期入試【1 月 28 日】 解答解説 (数学)

1

【正解】 ① -12 ② -36 ③  $x+2y$  ④  $-8ab$  ⑤  $\sqrt{2}-4$  ⑥  $(x=)3, 5$  ⑦  $80\pi(\text{cm}^2)$   
 ⑧ 工 ⑨  $\frac{7}{15}$  ⑩  $42^\circ$

【解説】

- ⑧ ア 中央値は 60 分以上 80 分未満の階級に入っている。  
 イ 平均値は、 $(10 \times 2 + 30 \times 8 + 50 \times 7 + 70 \times 12 + 90 \times 7 + 110 \times 4) \div 40 = 2520 \div 40 = 63$ (分)  
 ウ 40 分未満の生徒は  $2+8=10$ (人)だから、40 分の生徒は短い方から数えて 11 番目である。  
 エ  $7+4=11$ (人)だから、 $\frac{11}{40} \times 100 = 27.5$ (%)

2

【正解】 ①(ア) ② (イ) ③ ② 2(回)

【解説】

- ①(ア) 上の式で、16 点は陽一さんの合計の得点で、 $3x$  は勝ったときの得点、 $-2y$  は負けたときの得点を表すから、 $x$  回は陽一さんの勝った回数、 $y$  回は陽一さんの負けた回数を表す。  
 (イ) 下の式で、1 点は夏樹さんの合計の得点で、 $3x$  は勝ったときの得点、 $-2y$  は負けたときの得点を表すから、 $x$  回は夏樹さんの勝った回数、 $y$  回は夏樹さんの負けた回数、つまり、陽一さんの勝った回数を表す。  
 ② [考え方 1]、[考え方 2] のどちらの連立方程式を解いてもよい。[考え方 1] の連立方程式で考えると、  
 ①(ア)より、 $15-x-y$  はあいこの回数を表す。  
 $3x-2y+(15-x-y)=16$  より、 $2x-3y=1 \cdots$ (i)  $3y-2x+(15-x-y)=1$  より、 $-3x+2y=-14 \cdots$ (ii)  
 (i)  $\times 2 +$  (ii)  $\times 3$  より、 $-5x=-40$ 、 $x=8$   $x=8$  を (i) に代入して、 $16-3y=1$ 、 $-3y=-15$ 、 $y=5$   
 よって、陽一さんの勝った回数は 8 回、負けた回数は 5 回だから、あいこの回数は  $15-8-5=2$ (回)

3

【正解】 ①  $(a=)\frac{1}{3}$  ②(1)  $y=2x+9$  ② 27 ③  $(\frac{3}{4}, \frac{3}{2})$

【解説】

- ① 点 A は関数  $y=ax^2$  のグラフ上の点だから、 $y=ax^2$  に  $x=6$ 、 $y=12$  を代入して、 $12=a \times 6^2$ 、 $36a=12$ 、 $a=\frac{1}{3}$   
 ②(1) 点 B は関数  $y=\frac{1}{3}x^2$  のグラフ上の点だから、 $y=\frac{1}{3}x^2$  に  $x=-3$  を代入して、 $y=\frac{1}{3} \times (-3)^2=3$  よって、 $B(-3, 3)$   
 直線 BC は直線 OA に平行なので、傾きは、 $\frac{12-0}{6-0}=2$   
 直線 BC の式を  $y=2x+b$  とおき、 $y=2x+b$  に  $x=-3$ 、 $y=3$  を代入して、 $3=2 \times (-3)+b$ 、 $b=9$  よって、 $y=2x+9$   
 ②  $\triangle OAC$  の底辺を OC とみると、点 C の座標は  $(0, 9)$  なので、 $\triangle OAC = \frac{1}{2} \times (9-0) \times (6-0) = 27$   
 ③ 点 E は直線 BC 上の点だから、 $y=2x+9$  に  $y=12$  を代入して、 $12=2x+9$ 、 $2x=3$ 、 $x=\frac{3}{2}$  よって、 $E(\frac{3}{2}, 12)$   
 $\triangle OAB$  の底辺を OA とみると、 $OA \parallel BC$  より、 $\triangle OAB = \triangle OAC = 27$

(四角形 OAEB の面積)  $= \triangle OAB + \triangle BAE = 27 + \frac{1}{2} \times (6 - \frac{3}{2}) \times (12-3) = 27 + \frac{1}{2} \times \frac{9}{2} \times 9 = 27 + \frac{81}{4} = \frac{189}{4}$

よって、 $\triangle AED = \frac{1}{2} \times (\text{四角形 OAEB の面積}) = \frac{1}{2} \times \frac{189}{4} = \frac{189}{8}$

点 D の  $y$  座標を  $t$  とすると、 $\triangle AED = \frac{1}{2} \times \frac{9}{2} \times (12-t) = \frac{9}{4} (12-t)$ 、 $\frac{9}{4} (12-t) = \frac{189}{8}$ 、 $12-t = \frac{21}{2}$ 、 $t = \frac{3}{2}$

点 D は直線 OA 上の点だから、 $y=2x$  に  $y=\frac{3}{2}$  を代入して、 $\frac{3}{2} = 2 \times x$ 、 $2x = \frac{3}{2}$ 、 $x = \frac{3}{4}$  よって、 $D(\frac{3}{4}, \frac{3}{2})$

4

【正解】 ①  $32(\text{cm}^3)$  ②  $\frac{27\sqrt{2}}{2}(\text{cm}^2)$  ③  $30(\text{cm}^3)$

【解説】

- ①  $\frac{1}{3} \times \triangle ABP \times BF = \frac{1}{3} \times \frac{2}{3} \triangle ABC \times BF = \frac{1}{3} \times \frac{2}{3} \times (\frac{1}{2} \times 6 \times 8) \times 6 = 32(\text{cm}^3)$   
 ②  $PQ \parallel CD$  より、 $PQ : CD = AP : AC = 3 : (3+1) = 3 : 4$  より、 $PQ = \frac{3}{4} CD = \frac{3}{4} \times 6 = \frac{9}{2}(\text{cm})$   
 また、 $AQ : AD = AP : AC = 3 : (3+1) = 3 : 4$  より、 $AQ = 6\text{cm}$  である。よって、 $\triangle AQE \cong \triangle BAF$  なので、 $EQ = 6\sqrt{2}\text{cm}$   
 $PQ \perp (\text{面 AEHD})$  より、 $\triangle EPQ = \frac{1}{2} \times PQ \times EQ = \frac{1}{2} \times \frac{9}{2} \times 6\sqrt{2} = \frac{27\sqrt{2}}{2}(\text{cm}^2)$   
 ③  $PQ \parallel CD$  より、 $AQ : AD = AP : AC = 5 : (5+3) = 5 : 8$  より、 $AQ = 5\text{cm}$   
 辺 FG 上に  $FR = 5\text{cm}$  となる点 R をとると、求める体積は、三角錐 F-PQR の体積と三角錐 G-PQR の体積の和で求められる。  
 $PQ = \frac{5}{8} CD = \frac{5}{8} \times 6 = \frac{15}{4}(\text{cm})$  より、体積は、 $\frac{1}{3} \times (\frac{1}{2} \times \frac{15}{4} \times 6) \times 5 + \frac{1}{3} \times (\frac{1}{2} \times \frac{15}{4} \times 6) \times 3 = 30(\text{cm}^3)$

5

【正解】 ①(ア) ⑧ (イ) ① (ウ) ⑤ (エ) ⑨ ②(オ) 4 (カ)  $\frac{24}{7}$   
 ③(キ) 2 (ク) 2 ④(ケ) 21 (コ) 12 (サ) 11

【解説】

- ②(オ) 線分 BD は  $\angle ABC$  の二等分線だから、 $AE : CE = BA : BC = 8 : 6 = 4 : 3$   
 $AC = 7\text{cm}$  より、 $AE = \frac{4}{7} AC = \frac{4}{7} \times 7 = 4(\text{cm})$   
 (カ)  $EF \parallel BC$  より、 $EF : BC = AE : AC$ 、 $EF : 6 = 4 : 7$ 、 $7EF = 24$ 、 $EF = \frac{24}{7}(\text{cm})$   
 ③(キ)  $\triangle ADE \sim \triangle BCE$  より、 $AD : DE = BC : CE = 6 : (7-4) = 2 : 1$   
 (ク)  $DE = x\text{cm}$  とすると、 $AD = 2DE = 2x\text{cm}$   
 $\triangle ABD \sim \triangle EBC$  より、 $BD : AD = BC : EC = 6 : 3 = 2 : 1$   $BD = 2AD = 2 \times 2x = 4x(\text{cm})$   
 $\triangle ABD \sim \triangle EBC$  より、 $AB : AD = EB : EC$ 、 $8 : 2x = (4x-x) : 3$ 、 $6x^2 = 24$ 、 $x^2 = 4$   
 $x > 0$  より、 $x = 2$  よって、 $DE = 2\text{cm}$   
 ④ (ク) より、 $BE = 3x = 3 \times 2 = 6(\text{cm})$   
 $\triangle BCG$  と  $\triangle EFG$  において、 $EF \parallel BC$  より、 $BG : EG = BC : EF = 6 : \frac{24}{7} = 42 : 24 = 7 : 4$   
 よって、 $BG = \frac{7}{11} BE = \frac{7}{11} \times 6 = \frac{42}{11}(\text{cm})$ 、 $GE = \frac{4}{11} BE = \frac{4}{11} \times 6 = \frac{24}{11}(\text{cm})$   
 したがって、 $BG : GE : ED = \frac{42}{11} : \frac{24}{11} : 2 = 42 : 24 : 22 = 21 : 12 : 11$